

「原田伴彦記念基金」設立のよびかけ

部落解放のために生涯を捧げられた原田伴彦先生が急逝されて、早くも一年がたちました。社団法人・部落解放研究所の理事長として、部落史の研究、同和行政の推進に、また広く国民各層の正しい部落問題の理解のために奔走された姿は、いまでも私達の脳裏に焼きついて離れません。

原田先生のように、部落問題の各分野にわたって、しかもそれぞれ高い見識をもって極められ、かつ平易に誰でも納得させられるように語りかけてくださった研究者を、私たちは知りません。それを思うと、かえすがえすも原田先生の急逝が惜しまれてなりません。

今、わたしたちに課せられた任務は、原田先生の御遺志をつぎ、部落解放と人権確立のために、それぞれの力を結集し、力を尽くすことだと考えます。

その一環としまして、原田先生の一周忌にあたり、先生の遺業を受けつぎ、部落解放と人権確立に貢献する、秀れた研究、教育、調査、そして出版を奨励するために左記の要領で「原田伴彦記念基金」を設立したく存じます。

「原田伴彦記念基金」の趣旨に御賛同いただき、その実

現にひろく御協力いただけますよう訴える次第です。

一九八四年二月八日

「原田伴彦記念基金」設立呼びかけ人

(アイウエオ順)

磯村 英一 東京都立大学名誉教授

稲森 章晃 大阪企業同和问题推進連絡協議会代表幹事

上杉佐一郎 部落解放同盟中央執行委員長

上田 卓三 部落解放同盟大阪府連合会執行委員長

大島 靖 大阪市長

岸 昌 大阪府知事

木村 英一 全国大学同和教育研究協議会会長

黒田 匡 大阪同和问题企業連絡会代表幹事

住田 利雄 大阪市同和事業促進協議会会長

茶谷 幸一 同和问题に取り組む大阪宗教者連絡会議議長

代行

寺本 知 大阪府同和事業促進協議会会長
 奈良本辰也 歴史家
 野間 宏 差別と闘う文化会議議長
 花邑 晃慧 同和問題に取り組む宗教教団連帯会議議長
 原田 百子 家族代表
 平野 一郎 朝日カルチャーセンター社長
 福田 一彌 東京同和問題企業連絡会代表幹事
 岡本栄太郎 八代学院大学副学長
 緑川 亨 岩波書店社長
 村越 末男 社団法人部落解放研究所理事長
 門田 秀夫 全国同和教育研究協議会委員長
 和島 岩吉 元日本弁護士連合会会長

二、事業

- ① 研究の奨励
 - ② 出版の奨励
 - ③ その他、記念基金の趣旨目的にそった事業
- この趣旨に賛同していただける団体・個人より基金を集め、その果実で事業を行う。目標を五〇〇〇万円とする。

三、基金

一口 個人 五、〇〇〇円
 団体 一〇、〇〇〇円

振込先 大和銀行・桜川支店(普) 二二七五二二三

社団法人 部落解放研究所

原田伴彦記念基金

四、運営組織

原田伴彦記念基金は部落解放研究所内に設置する。但し、運営はこの基金の運営委員会(呼びかけ人の中より選出)で行なうものとする。

五、時期

一九八四年二月八日(一周忌)に呼びかけを開始し、一九八五年二月八日より開設する。

一、趣旨・目的
 故原田伴彦部落解放研究所理事長は部落解放にかかわった研究実践においてすぐれた業績を残されました。先生の遺業を受けつぎ部落差別を始め、一切の差別を撤廃することに貢献するすぐれた研究を奨励するために、原田伴彦記念基金を設置する。

原田伴彦記念基金・設置要綱(案)

故原田伴彦先生の略歴と業績

- 一九一七年 中国の奉天(現・瀋陽)で生まれる。本籍は佐賀県東松浦郡佐志村(現・唐津市佐志浜町)
- 一九四二年 三月 東京帝国大学文学部大学院を満期卒業
 一〇月 『中世における都市の研究』講談社
 一九五二年 四月 立命館大学非常勤講師
 一〇月 大阪市立大学経済学部専任講師
 同年 雑誌『部落』の編集を担当(三一号～四〇号)
 一九五三年 五月 部落問題研究所理事(一九六六年二月)
 一九五四年 五月 大阪市立大学経済学部助教授、日本経済史を担当
 一九五五年 四月 大阪市同和問題研究室理事
 一九五六年 四月 『関ヶ原合戦前夜』創元社
 一九五七年 一月 『日本封建都市研究』東京大学出版会
 一九五九年

一〇月 大阪市立大学経済学部教授

一九六〇年

六月 『共著』『講座・部落(1) 部落の歴史(上)』三一書房

一月 『日本封建制下の都市と社会』三一書房(増補・一九八一年七月)

一九六一年

大阪市立大学でおこった女子学生に対する差別事件をきっかけに、同大学での解放教育の取組みはじまる。(以後、長く全学同和問題委員会委員長)

一九六二年

三月 大阪商科大学より経済学博士の学位を受領

一九六四年

二月 大阪府同和对策審議会委員(一九八三年二月)

一九六五年

二月 『共著』『部落の歴史と解放運動(新版)』部落問題研究所

一九六七年

一月 大阪市同和对策審議会委員(一九八三年二月)

一九六八年

八月 部落解放研究所創立とともに理事長(一九八三年二月)

同年 大阪大で解放教育の講座(社会計画論Ⅰ)がはじまり、歴史などを担当

一九七〇年

四月 「部落の歴史」29回連載（『部落解放』第七号～四二号）
（?一九七三年六月）

一九七二年
五月 「編集」『日本庶民生活史料集成』第一四卷（部落）三
書房

一九七三年
七月 大阪市同和対策推進協議会会長（一九七五年七月）

一九七三年

四月 大阪市立大学同和問題研究室長（?一九七七年三月）

四月 「入門部落の歴史」部落解放研究所

八月 『被差別部落の歴史』朝日新聞社（朝日選書・一九七五
年三月）

一九七五年

四月 「監修」『復刻東雲新聞』全四巻・別巻（?一九七七年
三月）

一九八〇年

三月 部落解放同盟第三五回全国大会で第二回松本治一郎賞受
賞

三月 大阪市立大学停年退職、大阪市立大学名誉教授

六月 八代学院大学教授（?一九八三年二月）

一九八一年
二月 国際人権シンポジウムで「部落差別の実態と課題」「日
本における差別と人権」を報告

一九八二年
九月 「原田伴彦著作集」第四巻（部落問題論）思文閣出版

一九八三年
一〇月 「宗教と部落問題」難波別院

一九八三年

二月 部落解放研究所創立二五周年記念集会で功労者表彰

二月 「世界人権宣言三五周年にあたって」『大阪人権歴史資
料館報』第四号

二月 （八日）逝去